

2022 年度

千里新田地区青少年対策委員会 第2回委員会定例会議 議事録

2022.9.15 19:00~

千里新田小学校高学年図書室

【出席者】(敬称略)

森本、奥、高瀬、大塚、瀬上、辻井、上田、崎井、松山、金尾、福間、宮本、大野、勝矢、
田中（千新小 PTA）、穴澤（千新小 PTA）、北地（南中 PTA）、延木

テーマ：「子どもと大人がつながる地域活動とは」

【挨拶】

- 森本委員長より挨拶

→ 「子どもと大人がつながる地域活動とは」のテーマでグループディスカッションを行うとの説明。4つのグループに分かれ、上記テーマについて約 40 分のディスカッション予定。必ずしもテーマに沿ったものでなくても可、自身が感じたこと等フリートーク。ディスカッション後、それぞれ代表者が報告とのこと。

【報告】

- チーム名：なし（福間、北地、瀬上、延木） 発表者：北地

① 東京都文京区根津「藍染大通り歩行者天国（遊戯道路）」^(注1)のような取り組みは実現できないか？

（注1）：数日前に TV「マツコの知らない世界」にて紹介されたもの

- 地域の大人が見守る中、歩行者天国にするため子ども達が自主的に封鎖の車止めを立てる。その歩行者天国となった道路で自由に遊んでいる。子ども達が自ら自由な発想で遊びを考え出している。また、年齢の比較的近い数年前まで大学生だった青年等も一緒に遊んでいた様子が放送されていた。

→子ども達の自主性と見守る地域…とても楽しそうに見えた

- 実際に、千里新田小学校地区内でとなると、根津の商店街と違い住宅地の為、場所の選定などかなり難しいかも。

- 小学生だけでなく中学生も遊び場がなく困っているとのこと。遊び場所を求めるだけ公園で遊びたいだけなのに、中学生ともなると逆に通報されることもある。遊び場所がなく子ども達が可哀そう。自由に遊べる場所を…との思い。

- もし、こういった取組みができるのなら、地域の大人だけでなく近隣の大学の学生も一緒に活動等できればよいのにという願い。

② 「貸し農園」で野菜作り

- 地区内春日 3 に貸農園ができた。青対で畑を借り皆で運営などはできないか？

- 野菜作りを通して子ども達へ「食育」となるのでは？

- 青対の枠だけにとらわれず、畑作業の得意な地域の方などや子ども達がつながることで、新たなコミュニティができるのでは？

- 収穫した野菜を使い「収穫感謝祭」などできれば楽しつも？

- ・実際には除草や水やり手入れ等人力が必要で、かなりハードルは高いかも・・・？

③ ハロウィンの仮装で地区内スタンプラリー

- ・このところ開催できていない青対のイベント「地区内スタンプラリー」の代わりとなるイベントにしてみたい。

- ・ハロウィンの仮装で地区内を回る。スタンプラリーのイベントと融合したイベント？

- ・「こども 110 番の家」や協力してもらえるお家の方々等の顔を実際に見たり、（自己紹介的な）挨拶をすることで、「ここにはこんな頼れる人が居る」という、いざという時の子ども達の安心感に繋がるとよいという考え方。

- ・最後に「お菓子」配布して happyHalloween 

●チーム名：考え中（宮本、高瀬、崎井、上田） 発表者：宮本校長

- ・正直、イベントは今のままで十分かと感じている。

→現状のイベントに参加した子ども達は皆「楽しい」と言っている。

- ・子どもが楽しいと思うのはもちろんだが、イベントを開催する大人が楽しむということも大切。

→大人も子どもも自己肯定感を持つことに繋がる

- ・高齢化が進むなど、人手等の問題やコロナ禍の状況で、活動を受け継いでいくことに心配もある。

●チーム名：がんばれタイガース（金尾、大野、奥、勝矢） 発表者：金尾館長

- ・継続性のある取組みのためには団体同士の横のつながりが重要だと考える。

- ・一昔前では「子ども会」等の活動があったが、昨今では親の地域との関わりが希薄になってきているような気がする。保護者も参加しやすい活動をと願う。

- ・時間がない中で、皆で知恵を出し合い魅力ある活動づくりができればと思う。

●チーム名：たけのこ（松山、田中、穴澤、辻井） 発表者：辻井

- ・市報などで子どもに体験させてあげたい思いはあるが、申し込んでも参加人数の制限もあり参加出来ないという意見もある。

- ・コロナ前の地域のイベントを 1、2 年生の子どもや、保護者は体験しておらず、どんなものか知らないという人がいる。

- ・自然体験型のイベントや世代間交流などあればよいと感じる。

- ・おじいちゃん達の声掛けや朝の安全見守り活動など、継続してもらいたいという願い

【その他、意見】

- 父親の参加について

子どものスポーツ教室など、自身が体験してきたスポーツ等興味のあるものであれば、お父さんの参加も多い。親も一緒に参加したくなるような学校開放の企画をしてみては？きっかけがあれば“参加”となるのではないか？

→例えば親子で参加のスポーツ大会のようなもの？

- 歩行者天国、遊戯道路について

実際に企画するとなれば場所の選定は難しく、簡単に出来ることではない。むしろ、そういう遊び場所の為に「学校開放」があるのでないか？

学校開放事業の中で、子ども達の自主性を育むような、また子ども達の企画を傍で見守る運営形式での「学校開放」を考えていくのはどうか？

→例えば、子ども達が考えた遊びの日を作つてみる等

近隣の大学の大学生だけでなく、地域の中学生や高校生も！

- ハロウィン仮装の地区内スタンプラリーについて

地域清掃活動の設定日が暑い7月になっているため、10月にハロウィン仮装で地域清掃活動しては？

→仮装で出歩きたいという欲求はあるかも？参加者増々に期待できる？

ただ、仮装行列になると通報されるかも？の懸念あり。

- ハロウィン関連なら…。

→ キャンディーレイづくり

(2019年までは公民館文化祭で、キャンディーレイを作り出店販売していた)
子ども達と一緒に作ることもできる？

- ハロウィンは来月…。準備期間はないため、企画は次年度へ持ち越しとなった。

【今後の予定】

- 11月17日（木）19:00～ 第3回委員会定例会議

講演会の予定、内容未定